防災指針でご議論いただきたい内容

資料7の81～89ページの居住誘導区域への反映の考え方、及び91・92ページの取組施策について全体的にご意見をいただきつつ、各所属部門の視点（専門的な見地、市内事業者として、居住者として）にて、ご意見をいただきたい。

特にご意見いただきたい内容		対象者
資料7 (81～89ページ) 居住誘導区域への 反映の考え方	Q1 P89の「要検討エリア②」の考え方について適切でしょうか。	<有識者> 大沢委員長 中村副委員長
	Q2 <ul style="list-style-type: none"> 「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、発生頻度が低いが、危険性を考慮して居住誘導区域に含めないという考えについていかがでしょうか。 「洪水浸水想定区域」の浸水深3m以上の範囲は、垂直避難が困難となり、洪水時の屋内安全確保が難しいため居住誘導区域に含めないという考えについていかがでしょうか。 	<関係団体> 伊藤委員（商業） 奈良委員（医療） 荒木委員（福祉） 越野委員（商業） 山科委員（交通） <市民委員> 杉尾委員 関口委員 青木委員
資料7 (91・92ページ) 取組施策	Q3 専門的な見地から、今後和光市で検討すべき取組はありますか。	<有識者> 大沢委員長 中村副委員長
	Q4 浸水時に、企業として協力が可能な取組はありますか。 （例：帰宅困難者が発生した場合に駅周辺でできることなど）	<関係団体> 伊藤委員（商業） 奈良委員（医療） 荒木委員（福祉） 越野委員（商業） 山科委員（交通）
	Q5 自助・共助の視点で、追加すべき取組や、今後検討したほうが良い取組はありますか。	<市民委員> 杉尾委員 関口委員 青木委員